

全代会の広報誌 Campus

Apr. 2025

No. 234

特集：全代会ってなんですか？
筑波大学のイベント
全代会活動報告

冒
険
拠
点。



今
日
か
ら
つ
く
ば
が

こんどう たくみ 近藤 拓末 議長（情報科学類 4 年）

令和 6 年度議長、情報科学類 4 年の近藤拓末です。

令和 6 年度、全代会は活動の規模をますます広げていきました。これは、議長団をはじめ、全代会の全構成員が全学的な学生生活の向上に向け、活動したからこそであると感じます。

全代会は、全学の代表組織として、学生生活の向上を目的に活動をしています。特に令和 6 年度は、届いた意見に対する調査の強化や、海外大学との交流を通じた留学生支援の向上などに力を入れ、より多種多様な活動ができました。また、年に数回行われる学長や副学長など教職員の方々との懇談会では、授業カリキュラムやマレーシア校の学生

生活について直接の意見提言を行い、認識を共有することができました。

令和 7 年度も、全代会は学生生活の向上を目指して日々活動をしていきます。もし日々の生活で困ったことがあれば身近なクラス代表者（以下、クラ代）に相談したり、「教育生活環境調査」に投稿したりしてください。そして、一緒に大学を良くしていきたいと思った方はぜひ、全代会に入ってください。全代会は志のあるあなたをお待ちしております。

さあ、大学の未来を共に。



くわはら ゆうと 桑原 侑 副議長（国際総合学類 3 年）

令和 6 年度副議長の国際総合学類 3 年、桑原侑です。

学生の声が大学運営に充分反映され、これまで以上に現状の改善を実感できる組織へと全代会を成長させるために、私は副議長として活動してきました。

令和 6 年度私は、全代会に関わる規則の改定に注力しました。規則は活動を行う上での大前提となるものであり、活動の質を大きく左右するからです。しかし、規則と現状が乖離しており、規則の意味が読み取りづらく活動する上でも不都合が生じていました。そこで、現状の規定を見直すことで留学生、移行生、編入生など多様な学生が活動に参加しやすく、誰もが活躍することのできる環境を作ろうと努めました。また、規定内の文言を明確にし、内容を把握しやすくすることで、より活動が円滑に実施できるよう変更を加えました。

今後は、大学とより良い大学作りに向けてそれぞれの目線から語り合うこと、他学生組織と人的・物的・情報資源の融通や交流促進を図ることを推進していきたいです。これらの実現の先に、学生の活動全体の円滑化やさらなる活

しぶや こうだい 澁谷 耕大 副議長（地球学類 4 年）

令和 6 年度副議長の地球学類 4 年、澁谷耕大です。

私はクラス代表者会議（以下、クラ代会）から選出される学類等代表として、1 年次から全代会の活動に関わり、総務委員会情報部門長を経て、令和 6 年度は副議長と IPC* 委員長を兼ねておりました。

これまで以上に効果的に全代会をより良くしたいという思いで、副議長に立候補しました。特に「効率化の継続・向上」及び「クラ代会との距離を小さく」の二つの目標を副議長として掲げました。私は全代会における情報技術を管理していく中で、令和 5 年度から情報技術を活用した効率化を進めており、副議長となった令和 6 年度はさらにこれを強化しました。新歓 Web や新入生情報 Web の開発を主導した他、全代会 Web サイト上に「短報」を掲載することで、完全な議事録公開よりも早く本会議の様子を明らかに出来るようになりました。一方で「クラ代会との距離を小さく」することは、まだ達成できていません。今後とも、クラ代会と全代会、クラ代会と学生との距離を縮めていければと考えております。

*…情報処理推進特別委員会

全代会 概論

全代会とは？

筑波大学に「全代会」、正式名称「全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議」という組織があることをご存知だろうか？全代会は各学類・専門学群・総合学域群の代表者 3 人、および委員会活動のみを行う専門委員からなる学生組織だ。全代会は学内の教育・福利厚生・学内行事・大学運営など多岐にわたる問題を扱う。また、全代会は現在六つの常任委員会と三つの特別委員会からなっている。常任

委員会には総務委員会、学内行事委員会、教育環境委員会、生活環境委員会、調査委員会、広報委員会がある。特別委員会は常任委員会では対処しきれない問題に対して設置される委員会であり、現在は情報処理推進特別委員会、新入生歓迎特別委員会、国際特別委員会が活動を行っている。それでは、全代会の全貌を見ていこう。（山下）

大学に意見が届くまで

1 学生の意見が全代会へ

「教育生活環境調査」という学生の意見や要望を集めるための調査がある。この調査は通年で行われており、全代会 HP に調査フォームが設置されている。左の QR コードよりアクセスすることができる。

4 副学長・学生生活課に伝えられる

本会議の審議で可決・承認された議案は学生生活課や副学長に伝えられ、解決に向けて大きく動き出す。また、週に 1 回、学生生活支援室長をはじめとした教職員とのミーティングも設けており、学生の生の声が教職員へと伝えられている。

2 (意見に対する) 実状の調査、解決に向けた検討

学生から寄せられた意見は、総合学域群の履修についてであれば教育環境委員会、学内道路の危険箇所についてであれば生活環境委員会といったように、その内容に合った全代会内部の委員会によって詳細に調査・検討される。

3 本会議にて審議され、議決される

各委員会で検討が進み、議案として提出されると、各学類等の代表者が集まって開催される本会議にて、審議にかけられる。本会議については、活動報告や全代会HPにも詳しく書かれている。ぜひ見ていただきたい。

広報委員会 りゅう も か 龍 茂花

「伝える力で広がるキャンパス」

広報委員会は、全代会の広報や諸活動の報告、学生にとって有益な情報の発信を目的とした委員会です。全代会の広報誌である『Campus』の作成や各種 SNS の運用、各委員会から依頼された広報物の制作などを行っています。

取材や記事執筆、誌面の編集など雑誌編集に興味のある方、表紙やポスター制作に興味のある方を募集しています。広報誌を作成するにあたり、全代会内部の人や取材相手などさまざまな人と関わることで、新たな経験を得られます。令和7年度からはより一層 SNS や公式ホームページを用いた情報発信に力を入れていきます。委員長として、学年関係なく全員が活躍できる、温かい雰囲気のを委員会を作っていきたいと考えております。少しでも興味を持ってくれた方、広報委員会で一緒に活動できることを楽しみにしています。

国際特別委員会 チョウ イツキン 趙 溢鈞

「筑波大学の国際化」

国際特別委員会は、学内における留学生関連の諸問題に対処し、全代会自体の国際化にも取り組む委員会です。週1回のミーティングで、留学生が大学生活を快適に過ごすためには何ができるかを話し合い、学習や生活面での支援策を検討しています。具体的な活動としては、留学生の学習や生活をサポートするために、チューター制度の改善に取り組んでいます。サポート体制を見直し、より効果的な支援となるよう、関係各所と話し合いを続けています。また、毎年秋には留学生向けの新歓イベント「Tsuku・Koi」を開催しています。

留学生と積極的に関わりたい人、国際的なイベントの企画・運営に興味がある人にとって、国際特別委員会はさまざまな経験ができる場です。「留学生と仲良くなりたい!」「大学をもっと国際的にしたい!」という気持ちがある方は、ぜひ一緒に活動しましょう。

新入生歓迎特別委員会 なか の 中野 あおい

「新歓しているあなたを支えています。」

新入生歓迎特別委員会は、宿舎入居支援や各学類等の新歓オリエンテーションのサポートなどを通して、新歓する側・される側の両方を手助けする委員会です。主な活動内容は、学類オリエンテーションを運営する学類等の新歓担当への支援をはじめ、学生組織の委員選出の補助、新入生の宿舎入居時の支援や安全確保などです。

調査委員会 あ だち み く 足立 美空

「学生の声を形にする、未来の架け橋」

調査委員会は、学生からの本音に耳を傾け、学生生活をより良くするための調査を行う委員会です。主な活動は、全学の学生に向けたアンケートの作成や、その結果に基づく実地調査の実施です。私たちは特にコミュニケーションを大切にしており、日々の話し合いを通じ、一人ひとりの意見を汲んで幅広い視点から調査内容を考え、アンケートを作成しています。

普段は他の委員会の補助に回ることが多いですが、令和7年度は調査委員会が主体となる活動を進めていきたいと考えています。調査委員会は、「調査」を通して大学を変える力になる場所です。少しでも調査委員会に興味がある方、やりたいことがまだ見つからない方、仲間と共に学生の声を大切にしながら、より良い大学環境を作るために一緒に活動してみませんか？あなたの参加を心よりお待ちしております。

情報処理推進特別委員会

し ぶ や 澁谷 こう だい 耕大

「プロブレムを、プログラムで。」

IPC は全代会の外部と協力しつつ、「情報処理の力で筑波大学をより便利にすること」を目指す特別委員会です。新入生向けにサークル等の学生団体を紹介する「新歓 Web」、主に宿舎に入居する新入生に向けた「新入生情報 Web」といった学生向けの情報源の開発・展開や、情報技術をテーマとしたショートプレゼンテーションイベント（L T 会）の開催、その他課外活動団体向けの Web サーバの管理など、大学における情報処理をさまざまな面から推進しています。

情報技術を用いて大学をより便利にする、という貴重な経験が出来る場所だと考えています。情報分野に興味はあるものの何から始めればいいのか分からない方から、実際に手を動かして技術を磨きたい方まで、皆さんの参加を楽しみにしています！

新入生、学類新歓のお手伝いをしたい人をお待ちしております。この委員会は他の委員会と委員長交代の時期がずれるため、この文が皆さんに届く頃には私の委員長としての活動はほとんど終わっているかと思いますが、きっと次の委員長がさらに新歓を厚くサポートする委員会を作ってくれることでしょう！私や次期委員長達と一緒に、新入生への歓迎活動を盛り上げましょう！

委員会紹介

全代会には六つの常任委員会と三つの特別委員会が存在する。委員会ってどんなことをするの？そんな疑問に答えるべく、各委員長が新入生に向けて委員会の魅力や活動内容を紹介してくれた。どの委員会も個性が光るものばかり。ぜひ、自分に合った委員会を見つけてほしい。

学内行事委員会 か き ぬ ま ひ な み 柿沼 陽菜美

「楽しいを支える裏方の裏方」

学内行事委員会は、学内の行事をスムーズに進めるために、大学・後援会と学生との間で仲介役のような役割を担っています。また、筑波大学学園祭実行委員会やスポーツ・デー学生委員会、各学類等の新歓委員会など大学内の行事に関わる組織の支援・監査も行っています。

この委員会では、朱入れという書類の確認作業や各種会議への出席を行います。そのため、活動を通して書類の見方やメールの書き方といった、大学生活でもそれ以外の場面でも大切な力を自然と身に着ける ことができます。さまざまな組織と関わってみたい人、書類を見るのが好きな人、行事を支えたい人に向いています。皆さんが楽しく活動でき、各々の力を最大限生かせる委員会を目指して精進していきます！よろしくお願いいたします。

生活環境委員会 なかむら ふみ や 中村 文哉

「『75分』の外側をデザインしよう」

生活環境委員会は、学生の生活環境に関する問題に特化して活動する委員会です。この委員会は、教育生活環境調査に寄せられた意見をもとに、宿舎やキャンパス内の施設・交通、福利厚生に関する問題を検討し、大学等と協力して解決を図っています。他にも、調査委員会が行った調査に基づく要望書の作成、福利厚生について議論する会議への出席なども行っています。

生活環境に問題意識を持ち、それに対して主体的かつ協同的に動くことができる人を募集しています。Word や Excel を用いて文書を作成したり、懇談会などで人前に立って発表をしたりすることが、非常に多いです。そのため、文章を書くことや人前に立って話すことが得意になりたい人にも向いています。委員会に来ること自体を楽しんでもらえるような委員会にしたいです。少しでも興味を持ってくれた方、生活環境委員会で一緒に活動できることを楽しみにしています。

総務委員会 つ な き あき の り 綱木 映法

「縁の下での力持ち」

総務委員会は、全代会の活動が円滑に進むよう、なくてはならない大切な役割を担っています。他の委員会に属さない活動を引き受け、縁の下での力持ちとして活動しています。主な活動内容は、本会議の準備や短報、議事録の作成、全代会室と物品の管理、会計、全代会構成員の名簿の管理、名刺の作成、さらにネットワークや情報機器の整備など多岐にわたります。

文章を書くことが好きな方、ITに強いと思う方、裏方として委員を支えたい方には特におすすめの委員会です。一年を通して活動があり、皆さんの取り組みが全代会構成員の円滑な活動につながります。また、全代会の活動がよりスマートになり、構成員が動きやすくなるような方策を考え、実行していくこともあります。そのため、やりがいも大きいです。委員長として、総務委員会をアットホームな雰囲気で、個人の裁量を大切にしながら活動できる場にしていきたいと思います。ぜひ、一緒に活動し、全代会を支えていきましょう！

教育環境委員会 はる き カーニー 晴希

「教育が変わる、明日が変わる、未来を変える。」

教育環境委員会は、教育生活環境調査に寄せられた意見をもとに、全学の教育環境に関わる問題を検討し、その解決を図っています。具体的な活動としては、授業に関係する問題や印刷機の年間印刷枚数の不足といった、教育環境に関わる幅広い問題を取り扱っています。他委員会とも連携して活動しており、調査委員会や IPC、広報委員会と協力して、さまざまな学類でのおすすめ授業をまとめた『BRIDGE』という冊子及びウェブサイトの作成もしています。

新入生の皆さまと一緒に多くの教育環境に関する諸問題を解決していけることを心待ちにしています！！大学の教育環境改善に興味がある方、他学類のことを知りたい方、これを機に教育環境委員会の委員になりませんか？

筑波大学のイベント

Campus 234

大学生活の主な催事

How's our university life would be

筑波大学には、学生生活を豊かにする多彩なイベントが多数存在する。それらのイベントは学生生活の大きな思い出となったり、有用な情報を提供してくれたりするだろう。この特集では、そんなイベントの概要や魅力を紹介する。（榎本）

新歓祭

宿舍祭

スポーツ・デー

雙峰祭

就活イベント

TSUKUBA LIVE!

新入生歓迎祭(以下、新歓祭)は毎年、全ての新入生の歓迎と、学生団体等(サークル)による勧誘を目的として行われている。この新歓祭は、文化系サークル連合会、体育会、芸術系サークル連合会及び全代会によって設置される「新入生歓迎委員会」が主催している。筑波大学には文化系サークル連合会や体育会、または芸術系サークル連合会に所属する課外活動団体が約140団体、その他の一般学生団体が約120団体存在している。新歓祭は、それら多くの団体が出展するため、さまざまなサークルや団体の活動について知ることができる行事となっている。

新歓祭当日は、ステージでサークルを紹介する歌やダンスなどのパフォーマンスが行われる他、各団体のブースも出展される。ステージで各サークルの練習の成果を見ることで、実際にサークルへ入った際の姿を想像することができるだろう。また、各ブースではチラシを配っていたり、上級生がサークル加入に関する相談に乗っていたりする。直接上級生と話すことで、リアルなサークルの雰囲気を知ることができるようになっている。

「先輩方からたくさんサークルや部活動のチラシをもらい、とても圧倒された」と実際に参加した人は話す。加えて、「新歓祭に参加したことでサークルに所属する先輩から直接活動の様子や、今後の活動予定、イベント等の情報など多くのことを聞くことができ、興味がある団体に限らずいろいろな団体について知ることができた」と語った。（畠中）

新歓祭

“気になるサークル探し”

宿舍祭

“大学生活の思い出はここから”

筑波大学宿舍祭は「やどかり祭」と呼ばれており、毎年5月に前夜祭と本祭の計2日間、入学したばかりの新入生の企画が中心となって開催される。本稿では、やどかり祭で新入生がメインとなる企画を3つ紹介する。

1つ目はゆかたコンテストである。1年生やサークルを中心にグループをつくり、浴衣を着てメインステージ上でパフォーマンスを行う。ゆかコンはやどかり祭のクライマックスを盛り上げ、花火とともにやどかり祭の締めを飾る。

2つ目は御輿の練り歩きである。学類ごとに御輿を製作し、本祭にて練り歩きと数分間のパフォーマンスを行う。ユニークな御輿と個性的なパフォーマンスや掛け声で祭りを盛り上げる。

3つ目は模擬店である。1年生は学類やクラス単位で、焼き鳥、餃子、かき氷、フルーツ飴などの食品を売る屋台やくじ引き、射的など夏祭りさながらの屋台を出店する。平砂エリアを埋め尽くすほどの出店があり、出店していない人でも屋台を見て回るだけでも楽しむことができる。

「実は祭りの裏では多大な努力があった」と御輿制作を経験した学生は話す。「材料の検討、購入、デザイン、設計図、制作、台本作成、衣装作成などの大量の作業を、大学生になったばかりで学類の仲間との仲もまだ浅い状態のまま進めることがとても難しかった」という。ただ一方で、「そんな状態だからこそ生まれる助け合いや学類の仲間との交流によって、仲間との絆は強固なものになった」と締め括った。（木下、北口）

スポーツ・デー

“自分だけの最高を目指して”

「筑波大学の全学生・教職員にスポーツを楽しむ機会を提供する」という趣旨によって開催される、スポーツ・デーという行事がある。スポーツ・デーは例年春季と秋季の年2回開催され、令和7年度は5月と11月に開催される予定である。

スポーツ・デーはスポーツ・デー学生委員会によって運営されており、学生や教職員はだれでも選手として参加することが可能だ。スポーツ・デーには各種目で定められたチームの人数を集め、ウェブサイトからの申し込みを行うだけで参加できる。前回の令和6年度秋季スポーツ・デーでは、バレーボールやソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、e-sports、アルティメット、サッカーのトーナメント戦が実施された。それぞれの種目には男子部門、女子部門、混合部門、スタンダード部門、ハイレベル部門などが設置され、自分の属性やレベルに合わせて参加しやすいイベントとなっている。

この他にもスポーツ・デー委員会が行う企画やサークル企画もある。昨年度は気配切りやPK対決、モルックなど多くの「オリジナル競技」が行われた。これらの競技には、事前申し込みなしで参加できる。サークル企画は公開練習と練習体験の2種類に分かれており、普段は見ることのできないアスリートの技を間近で見学・体験できる。昨年度は体操部による体験教室や卓球部による公開練習が行われた。（龍）

次ページの内容

Contents on the next page

| 雙峰祭 | 就活イベント | TSUKUBA LIVE! |

TSUKUBA LIVE!

筑波大学ホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」を知っているだろうか。筑波大学体育スポーツ局が主催するホームゲームのことだ。「大学スポーツの可能性を広げ、スポーツで交流と興奮、文化を創る」をビジョンに令和4年3月よりバスケット・サッカーなど、8競技の試合を開催している。ただ試合を観戦するだけではなく、会場ではダンスや音楽のパフォーマンス、キッチンカーの出店など試合以外にも楽しめるような工夫がされている。また、このイベントは学生が、広報・演出・デザインなどの企画運営に携わっているそうだ。

大学スポーツトップレベルといわれる筑波大学のチームによるホームゲームを一度観戦してみるのはどうだろうか。
(榎本)

公式 HP



就活イベント

筑波大学では、ヒューマンエンパワーメント推進局キャリア支援チーム（以下、BHE キャリア支援チーム）が中心となり就活支援を行っている。公式ウェブサイトには就活イベントの案内をはじめ、学生の「学び」と「キャリア」を結びつけるプログラムの紹介があり、将来に向けた準備を具体的に進められるサポートが揃っている。

公式 HP



就活情報はこちら

BHE キャリア支援チームの Teams グループや、スチューデントプラザ2階の就職資料コーナーに企業案内や求人票、就職関連雑誌など各資料がある。また、「就職情報提供システム」からも情報を得ることが可能だ。加えて、BHE キャリア支援チームは年に4回、合同企業説明会・業界研究会・インターンシップ研究会などを開催している。これらのイベントは、述べ10日以上行われ、計300社以上が出席するため、情報収集に大いに役立つだろう。
(榎本)

雙峰祭

雙峰祭とは筑波大学の学園祭である。広大なキャンパスを生かした多種多様な企画があり、模擬店やパフォーマンス、研究紹介、ステージ発表など、活気に満ちた企画が目白押しだ。例年、来場客数は3万人を超え、秋を彩る一大イベントとなっている。

雙峰祭に出るには？

企画は模擬店とパフォーマンス・ステージ発表の2種類がある。雙峰祭オンラインシステムに必要な情報を入力すると企画を出すことができる。入学式後すぐに募集がはじまるので、出店したい方は公式ウェブサイトを確認するとよいだろう。

※令和6年度は4月22日(月)9時～5月10日(金)
に募集期間が終わってしまった…！

チェック！



模擬店



模擬店の様子

パフォーマンス・ステージ



パフォーマンスの様子

雙峰祭の見どころ発見！

雙峰祭は前夜祭と本祭2日間の計3日間で行われる。本祭中は、ステージ発表や模擬店でキャンパスがにぎわいを見せる。後夜祭では、雙峰祭を最も盛り上げた団体が「雙峰祭グランプリ」として表彰されたり、人間として総合的な魅力を競う TSUKUBA COLLECTION のグランプリが発表されたりと、ステージは大きな注目を集める。最後には大きな花火が夜空に上がり、雙峰祭は幕を閉じる。
(榎本)



ステージ前で盛り上がる観客

全代会活動報告

第2回意見聴取会

日時：令和6年9月25日（水）18時30分
場所：（対面）3A204
（オンライン）Microsoft Teams

出席：全代会構成員、学園祭実行委員
議題『筑波大学学園祭実行計画書（追加提出分）について』
○議題について

本会は、後日行われる第4回本会議において提出予定の学園祭実行計画書追加提出分の承認に先立ち、当該計画書の内容について審議するものである。全代会構成員からは、学園祭学生分担金について、60万円程度の減収になっている原因について質問があり、学園祭実行委員会（以下、学実委）から令和5年度約93%だった納入者が令和6年度には約88%に減少したと説明された。

第4回本会議

日時：令和6年10月2日（水）18時41分
場所：（対面）3A204
（オンライン）Microsoft Teams

出欠：出席45 遅刻3 早退0
参考人：学園祭実行委員
議題『学園祭実行計画書（追加提出分）の承認について』
【採決結果】（採決時の出席は45人）
賛成45 反対0 保留0 ↓全会一致で可決
○議題について
学内行事委員会から、学園祭開催のため学園祭

を含めるか否かが論点となり、今回の議論をもとに本会議までに新入生歓迎委員会が判断することとなった。

第7回本会議

日時：令和7年1月22日（水）18時48分
場所：（対面）3A204
（オンライン）Microsoft Teams

出欠：出席47 遅刻3 早退2
参考人：学園祭実行委員、新入生歓迎委員
議題1『学園祭決算報告書の承認について』
【採決結果】（採決時の出席者は44人）
賛成40 反対0 保留1 棄権3 ↓可決
議題2『新入生歓迎活動に関する申合せについて』
【採決結果】（採決時の出席者は47人）
賛成41 反対0 保留0 棄権6 ↓可決
議題3『筑波大学新入生歓迎活動規定について』
【採決結果】（採決時の出席者は45人）
賛成40 反対2 保留0 棄権3 ↓可決
○議題について

議題1は、学内行事委員会から提出された、「学園祭実行委員会について」に基づき学園祭決算報告書の承認の是非を諮るため「筑波大学学園祭実行委員会令和6年度決算報告書」の承認を求める議案である。学園祭実行委員会からは、二次予算より減少した収入の項目などについて説明された。質疑応答では、公式グッズのクリアファイルの販売個数について二次予算より多いことについて質問があり、学園祭実行委員会からは個人協賛で渡す数量が減少したため、二次予算より販売数が増加したという回答がなされた。

議題2は、学内行事委員会から提出された、令和6年11月13日（水）に執り行われた第5回本会議にて保留となった議案である「新入生歓迎活動に関する申合せ」の承認を求める議案で

実行計画書の追加提出分の承認を求める議案が提出された。学実委から、学園祭実行計画書の訂正箇所や追加箇所についての説明があった。

第5回本会議

日時：令和6年11月13日（水）18時30分
場所：（対面）3A403
（オンライン）Microsoft Teams

出欠：出席43 遅刻1 早退0
議題『筑波大学新入生歓迎活動に関する申合せについて』
【原案に対する採決結果】（採決時の出席者は44人）
賛成12 反対16 保留7 棄権9 ↓賛成・反対ともに全議員の過半数を満たさなかったため保留
【修正動議に対する採決結果】（採決時の出席者は44人）
賛成21 反対1 保留15 棄権7 ↓賛成・反対ともに全議員の過半数を満たさなかったため保留
○議題について

学内行事委員会から、新入生歓迎及び勧誘活動に際して関係組織について定めるため、「筑波大学新入生歓迎活動に関する申合せ」の承認を求める議案が提出された。提出された条文における第十四条2項の「及び」「並びに」という文言を「もしくは」「又は」へと修正する動議が提出された。問題発生時に、柔軟、かつ即効性をもって組織が新入生歓迎委員会に請求できるようにするためには、「または（or）」というニュアンスが含まれる「もしくは」とすることが適切と判断した、と動議提出の趣旨が説明された。動議を発議するか否かの表決結果は、賛成34、反対2、棄権8となり、会議出席者の過半数の賛成を得たため、動議は発議され、原案及び修正動議両者に対し採決がされた。

ある。令和7年1月15日（水）に開催された第4回意見聴取会では、新歓活動に「支援活動」を含めるかが議論になったが、申合せには運営に関する直接的な事項が定められているため早急に承認される必要があること、全代会と新入生歓迎委員会の間での合意形成や解釈のすり合わせには時間がかかることを踏まえ、新歓活動に「支援活動」を含めない案について審議するという説明がなされた。

議題3は、学内行事委員会から提出された、議題2で承認した申合せ第十七条により規定されている「筑波大学新入生歓迎活動規程」の承認を求める旨の議案である。質疑応答では、条文には新歓祭に参加することができるのは『すべての学生団体』と記載されているが、運営費の納入を義務付けられているのは『すべての学生団体』ではなく『一般学生団体』とされている理由について質問があった。これに対し新入生歓迎委員会は、三系所属の課外活動団体から拠出金を得ているものの、一般学生団体からは拠出金を得ていないため一般学生団体には新歓祭の開催に関する運営費の納入をお願いしているという回答がなされた。

第3回意見聴取会

日時：令和6年12月3日（火）～12月5日（木）
場所：（オンライン）Microsoft Forms
議題『第50回雙峰祭総括報告書について』
○議題について

本会は、後日行われる第6回本会議において提出予定の第50回雙峰祭総括報告書について、学内行事委員会が事前に意見を求める場として開かれた。都合により意見聴取会を対面で開催することができなかったため、Microsoft Formsにて意見聴取を行った。公式パンフレットの販売数や自転車撤去の周知についての質問がされ、続く第6回本会議において審議される議題「学園祭総括報告書の承認について」の採決の判断に寄与した。

第6回本会議

日時：令和6年12月11日（水）18時30分
場所：（対面）3A204
（オンライン）Microsoft Teams

出欠：出席46 遅刻3 早退0
参考人：学園祭実行委員
議題1『学園祭総括報告書の承認について』
【採決結果】（採決時の出席者は43人）
賛成41 反対0 保留2 ↓可決
議題2『国際特別委員会設置期間についての要請』
【採決結果】（採決時の出席者は46人）
賛成40 反対1 保留1 棄権4 ↓可決
議題3『情報処理推進特別委員会の設置期間の延長について』
【採決結果】（採決時の出席者は46人）
賛成42 反対0 保留0 棄権4 ↓可決
○議題について
議題1は学内行事委員会から提出された、学園祭総括報告書の承認の是非を諮ることを求める議案である。質疑応答では、石の広場の自転車

編集後記

新入生の皆様、ご入学おめでとうございいます。昨年度広報委員長を務めておりました榎本陽子と申します。あつという間に月日が過ぎ去り、大学に入学してから3年目を迎えようとしています。が、昨年度の委員会は一言で表すと「やわらかであたたかな委員会」だといえるでしょう。委員全員が楽しんでもらえるような雰囲気づくりを力を入れ、限られた人数で力を合わせて『Campus』の誌面を制作する1年になりました。学年の壁を乗り越え、和気あいあいと話す委員会の時間は委員みんなのおかげでできたものだと思っています。1年間、一緒に頑張ってくれて本当にありがとう。

車撤去が早く行われることの告知が看板に正しく記載されていなかったのではないかと質問がされた。学実委より、看板の内容自体には問題がなかったが撤去前後で看板の位置を移動させたため、石の広場において自転車撤去後に当該の告知看板が確認できなかったことが問題だと思われる、と回答された。

議題2は、国際特別委員会から提出された、国際特別委員会の設置期間を無期限とすることを求める議案である。質疑応答では、常任委員会ではなく特別委員会での設置とする理由に関する質問が挙がった。これに対して、将来的には常任委員会の中で留学生に関する問題に対処できるように国際特別委員会が不要になることを期待していること、国際化が完了する具体的な期限の目途が立たないことから無期限とすることが説明された。

議題3は、情報処理推進特別委員会から提出された、情報処理推進特別委員会の設置期限を令和7年3月31日から令和9年3月31日に変更することを提案する議案である。

第4回意見聴取会

日時：令和7年1月15日（水）18時30分
場所：（対面）3A204
（オンライン）Microsoft Teams

出席：全代会構成員、新入生歓迎委員会
議題『「新歓申合せ」について』
○議題について
本会は、第5回本会議で承認が保留された「新入生歓迎活動に関する申合せ」に加え「新入生歓迎活動規定」について意見を求める場として開かれたものである。「新入生歓迎活動規定」は全代会案と新入生歓迎委員会案の2案が提出され、どちらを本会議にかけるかという点について意見が交わされた。新歓活動に「支援活動」

今年度の広報委員会のさらなる活躍を願って、最後に私の好きなマンガ「ブルーピリオド」の言葉を引用したいと思います。

「好きなことをする努力家はね、最強なんですよ」

委員会活動をしていて、ちょっとしたことがつらくなってしまう日があるかもしれません。でもどうか、自分の好きなことをする時間は大切にしてください。そして願わくば活動そのものを好きになって楽しい時間になりますように。

（榎本）

Campus

全代会の広報誌

No. 234 Apr. 2025

2025年4月1日発行

編集長

龍 茂花

発行人

榎本 陽子

表紙デザイン

山下 モカ

編集委員

菅原 由乃

江波戸 憧音

近藤 拓未

澁谷 耕大

川島 淳一郎

佐藤 凌

大谷 美琴

篠崎 健太

岡本 翔太

榎本 陽子

山下 大樹

田沼 結美子

小野 さくら

北口 遥

畠中 真

龍 茂花

山下 モカ

木下 溪花

発行

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

広報委員会

https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/

(publicity@zdk.tsukuba.ac.jp)

発行

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

11

10

全升会の誌

quamp

Apr. 2022

No. 234

全升会のご案内：兼替

京都大学の特集

全升会の特集

今日から
おはよう



冒険点